

た山下さんが解説を書いた。ヤシロに何年か経って当時の深沢七郎と同じくらいの年齢になった山下さんは、インターネットの質問コーナーで人からの投げかけに応えはじめた。山下さんがこの依頼を受けたのは、深沢七郎の質問の本の解説があったからなのだそう。ふたりの質問コーナーの違いは、深沢七郎はもう死んでいるから更新はしないけれど、山下さんは余裕で生きてるからどんどん新しい回答が書かれ続けていることだ。ふとしたタイミングで更新のお知らせが届く。なんせ現役。リアルタイム。こんなすばらしいことはなかなかない。

やがて山下さんの質問コーナーも『おれに聞くの？』という本になり、帯に写真を載せられ、肩にぐいえもんの絵を乗せられ、吹き出しまでつけられた山下さんはこんなことをしゃべられる羽目になった。

「読むと悩みが消えます。もしくは、増えます」

今、この感想文らしきものを書くためにもう一度「小さな質問者たち」を読み返した。ういよっばなで深沢七郎はこう書いていた。

「私の答えは相手の悩みを解決させるどころか、あべこべに、悩みを増すことになってしまっていることになるかもしれない」

とてもたのしい笑

おれのもの『おれに聞くの？』を讀んだ」後編

2023年7月6日

▼深沢七郎『梅山節考』(新潮文庫・第八十四刷)

▼同『人間滅亡的(的)人生案内』(河出文庫・初版)